

6) 動力刈払機

(1) 用途

畦畔などで雑草を刈払うために使用する。

(2) 構造

刈払機は携帯形式により、肩掛け式、背負い式および手持ち式に分類される。肩掛け式は、刈払機に取付けられた肩掛け用バンドを作業者の肩に掛けて作業するもの、背負い式は、刈払機のエンジンの部分を軽合金のパイプで作った背負架で作業者の背に背負って作業するもの、手持ち式は、特に質量の小さい小型刈払機に用いられて、作業者は長軸ケースを握り手鎌のようにして作業するものである。これら3種類の形態のうちで、肩掛け式が最も多く用いられる。

肩掛け式刈払機は、エンジンのクランク軸の動力取出し側に遠心クラッチを設け、クラッチ・ドラムに1 m 数 10 cm の長軸を連結している。長軸の先端には動力の伝達方向を変換するために一對の傘歯車があり、傘歯車で方向変換された従動軸の先端には刈払用の丸鋸が取付けられている。遠心クラッチ・ケースの先端付近には肩掛け用のバンドが、また長軸ケースの中央部付近には操作ハンドルがあり、その右手あるいは左手のハンドル・グリップにはスロットル・レバーが取付けられている。

エンジンは、1～3 PS (排気量 20～30 cc) 程度の2サイクル・空冷エンジンが主流である。

この他、カセット式のLPGガスボンベを装着しているガス・エンジン・タイプもある。

(3) 取扱状の留意点

指定された作業以外には使わない。作業前に手袋をして刈刃のヒビの有無、締付け具合をチェックする。必ず両手でハンドルを握り、片手作業はしない。1日の使用時間は2時間以内とする。

(4) 安全作業のポイント

取扱い説明書や安全ラベルをよく読み、理解する。

保護具(メガネ)や保護衣を着用する。

半径3 m 以内に近づかない。

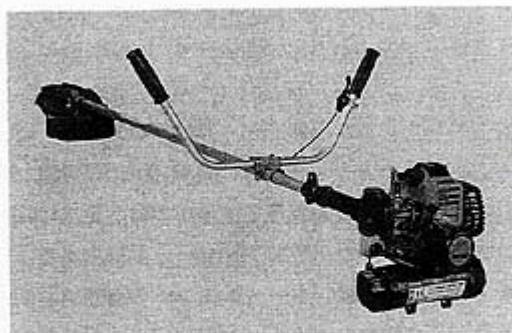
足元に注意し、雨上がりの後など濡れている場合、夜間、風の強い日などには作業しない。飛散防止カバーを外さない。

点検・調整・巻付き除去には、必ずエンジンを止めてから行う。

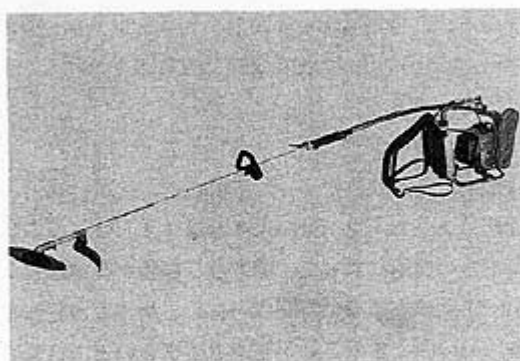
キックバック(跳ね返り)し、危険なので、岩や石、切り株などに刈刃を接触させない。作業中は、刈刃を膝より高く持ち上げない。

(5) 価格例

肩掛け式で4～7万円、背負い式で6～9万円程度のものである。



肩掛け式刈払機 (カセット式LPGガスエンジン)



背負い式刈払機